

# 2021年度大学院生プロジェクト型研究成果報告会

本大学院生プロジェクト型研究は、大学院生が主体的に研究を企画・実施・報告する力を養い、研究能力を高める機会の提供を目的として実施しているものです。

上記の趣旨から、2021年度大学院生プロジェクトの成果報告会を下記の要領で行います。参加自由ですので、学生・教員の皆様は奮ってご参加ください。

日時：2022年3月7日（月）13:00～17:00  
場所：オンラインで実施します（Zoom）  
申し込み：右記 URL/QR コードから申し込みください

<http://bit.do/inseiProject2021>



研究代表	研究課題
千葉 柝作 (博士後期3年)	バウムテストにおける各種指標と自閉症スペクトラム傾向の関連性についての研究
菅原 大志 (博士後期3年)	過疎山村における高齢女性の定住とスポーツ —山形県小国町小玉川地区における健康体操の取り組みから—
坂本 一真 (博士後期3年)	いじりの被行為者の精神的健康および集団適応の因果モデルの検討 —いじりに対する認知的評価と対処行動に着目して—
神山 真由 (博士後期2年)	1960年代から1980年代の臨時教員養成機関におけるカリキュラムの多様性についての研究
鴨志田 冴子 (博士後期2年)	森田療法における「思考の矛盾」状態の形成に関わる要因についての研究 —児童期の生活スタイルと親の養育態度に着目して—
小岩 広平 (博士後期2年)	デートDVの被害者は、交際前に加害者のパーソナリティをどのように認知しているのか
櫻庭 真弓 (博士後期2年)	中学生の不登校傾向低減のための親への解決思考短期療法に基づくワークの効果
鈴木 理仁 (博士前期2年)	芸術家の創造と学習 —ライフストーリーに着目した学習プロセスの分析—
高 昌豪 (博士前期2年)	なぜ青年はアカウント化するのか —現代青年の分断された友人関係—
杉本 守 (博士前期2年)	親になる前の乳幼児に対する情緒応答性の発達に関する研究 —表情認知の方法における親との差異に着目して—

## 【問い合わせ先】

東北大学大学院教育学研究科 先端教育研究実践センター

Tel/Fax: 022-795-6141/3737 E-mail: [edunet@sed.tohoku.ac.jp](mailto:edunet@sed.tohoku.ac.jp)